

## 漫才台本 1

A「いやー、私たちも晴れて大学生ですね。」

B「そうだね。大学生になるまで、受験勉強がたいへんだったですよ。」

A「山口県立大学の入学試験の問題も、思った以上に難しかったよな。」

B「そうですね。私なんか、あの問題に苦労しました。」

A「あの問題と言うと？」

B「あなたも苦労したでしょう、あの問題ですよ。あの問題。」

A「なんかいやらしいんだよ。もったいぶらずに教えろよ。」

B「そうですか。そこまで言われれば、私が全人類を代表して教えなければたいへんです。」

A「えらい大袈裟だな。早く言えよ。」

A「それなら言いましょ。問題です。次の問いに答えなさい。ブタさん、ウシさん、ニワトリさん、スズメさん、仲間はずれはだーれ？」

A「おいおい、そんな大学の入試問題あるわけないだろ？ いったいどこの大学の入試問題なんだ？ お前本当にうちの学生か？」

B「ばれましたか？」

A「ばれましたか、じゃねーよ。」

B「大丈夫、私は正真正銘の山口県立大学生で〜す。」

A「それがいけないんだよ。」

A「これは僕が考えたんじゃないですよ。K口先生の台本ですから。」

B「だから、ひとを巻き込むなって。」

B「皆さん、ここだけの話ですが、あのK口って奴は、本当、ひどい野郎ですよ。」

A「おいおい、ひどいってどういうことだよ。」

B「授業開始のチャイムが鳴ると、教室に入ってきて、偉そうに中国語なんか教えやんの。」

A「中国語教えるって、当たり前だろう。あいつの仕事なんだから。」

B「おい、あいつって、先生に失礼でしょう。」

A「おい、もともとお前が言ったんだろ。俺が悪者かよ。」

B「そうなんですよ。こいつ見かけによらず、K口より悪い野郎なんですよ。」

A「だから先生を引き合いに出すなよ。しかも俺、悪い奴じゃねえし。いったいどこが悪い奴なんだよ。」

B「皆さん聞いて下さいよ。このあいだなんか、1000円かしてくれって言ったら、ケチで、2000円しか貸してくれないでやんの。」

A「おいおい、倍もかしてやってるじゃねえか。やってられねえよ。話を戻そう。話を戻そう。」

B「私は●●中学出身の、●●といます。この高校に入れてよかったです。たくさん友達を……。」

A「おいおい、どこまで戻ってんだ。大学の受験勉強の話だよ。」

B「受験勉強と言えば、私は歴史が不得意でした。」

A「そう俺も苦労したよ。特に年表とか、覚えるのがたいへんで、語呂合わせなんかで覚え

たな。」

B「語呂合わせ、語呂合わせ、覚え〜た、覚え〜た。」

A「だから、お前本当にうちの学生か？」

B「ばれましたか。」

A「ばれましたかじゃねえよ。本当にうちの学生なら、日本史の簡単な年表の語呂合わせができるだろ。」

B「はい、はい、はい、先生、できま〜す、できま〜す。」

A「だから、お前本当にうちの学生か？」

B「ばれましたか。」

A「やってられねえよ。じゃ、問題行くぞ。鳴くよウグイス。」

B「ホーホケキョ。」

A「定番のポケをかましてるんじゃないよ。真面目にやれ。」

B「いや今はちょっと客をくすぐってやっただけさ。」

A「何、急に気取ってるんだ。いくぞ、鳴くよウグイス。」

B「平安京。」

A「おっ、やればできるじゃん。平安京は桓武天皇によって、なくよ、つまり794年に置かれた日本の都だな。じゃ、次、行くぞ。何と大きな。」

B「平安京。」

A「いい国作ろう。」

B「平安京。」

A「なんだ、全部、平安京じゃねえか。だから、お前本当にうちの学生か？」

B「ばれましたか。」

A「ばれましたかじゃねえよ。」

B「実は、私、こう見えても、平安京のファンでして。全国平安京友の会の会長もやらせていただいております。」

A「平安京のファンって、聞いたことねーよ。それに、全国平安京友の会ってどこにあるんだ。」

B「ここにあります。山に登るのは、そこに山があるからだ。」

A「何、わけのわかんないこと言ってんだよ。それにいったい、お前、平安京のどこがファンなんだよ。」

B「平安京と言いましても、実は、現在の京都のファンでございまして。」

A「それならわかるよ。」

B「あの碁盤の目に交わる数々の都大路のえもいわぬセクシーさが、何とも、……」

A「わけわかんねえよ。都大路がどうしてセクシーなんだよ。それに京都と言えば、普通、神社仏閣とか、祇園祭、大文字焼き、舞妓さんとかじゃねえのか。」

B「だからお前は素人なんだ！！」

A「いきなり怒鳴るなよ。」

B「怒鳴りたくもありませんよ。都大路のセクシーさがわからない人に、金輪際、京都を語ってもらいたくない。」

A「わかりたくもないよ。しかも、おれ京都を語る気ないし。」

B「何を言ってんだ。京都、いにしへの平安京は、あの中国、唐の都、長安をまね、風水によって堅固に守られるようにプランニングされた、建築史上、思想史上、たいへん重要な都市なんだぞ。そして、風水は、中国古来の道教という思想に由来し、道教はもともと女性原理で構築されている思想なんだぞ。だから、都大路はセクシーなのだ。あなたにはわからないでしょうが。」

A「何、急に難しいこと言い出すんだよ。」

B「そして、その建築のプランニングの思想を解明し、現代建築に応用するために、私は、山口県立大学の工学部・建築学科に入学したんだ。」

A「やっぱり、お前、うちの学生じゃないな。」

B「ばれましたか。」

A「やってられねーよ。」

A・B「どーも、失礼しました。」